

ギャンブルにはまりこんだ挙句に、多重債務、失職、離婚、犯罪、自殺（未遂）、過度なギャンブルは様々な問題を引き起こします。ギャンブラー本人、そして何よりも苦しむのは家族、何も罪のない子供です。ギャンブルが引き起こす害にどう、対応していけば良いのでしょうか？

オーストラリアは、一人当たりのギャンブル支出は、ダントツ世界一。アメリカと比較すると、一見、オーストラリアではギャンブル害予防の対策は、整えられているようにも見えます。

本当にそうなののでしょうか？

オーストラリアのギャンブル対策、特に産業の対策の問題点、なぜその対策では害を最小化できないのか、真に有効な害の最小化対策の実施には何が必要なのか、Livingstone先生にお話ししていただきます。

オーストラリアのギャンブル対策の 世界一のギャンブル大国 現状と課題に学ぶ

害最小化対策の実施を阻むもの

（日本語への通訳あり）

日程 12月7日(金)

時間 午後6時30分～

会場 エルおおさか
7階 708号室



講師

Charles Livingstoneさん

オーストラリア モナッシュ大学上級講師

ギャンブル害の予防、害の低減、そのためのフェアな制度の構築について様々な提言をしている。ギャンブル産業の欺瞞性、研究者と産業との関係性についても、率直に意見を表明しており、オーストラリアを代表する問題ギャンブルの専門家

無料
講演会

主催 大阪いちょうの会

共催 大阪家族教室 依存症問題対策全国会議

進行役

滝口直子（大谷大学教授）

。ギャンブル依存症の本人や巻き込まれて苦しんでいる家族の支援活動を通し、当事者主体の回復を目指している